

本屋の「今」が分かる！ 書店員さんのちよつとためになる情報誌

DAIWA LETTER 51号

特集 はじめてのビブリオバトル！@海老名

PICK UP! MIZUSHIMA ニトリモール枚方店

社長特命担当
ビブリオバトルプロジェクトチーム

プロフェッショナル 株式会社有隣堂 市川 紀子さん



社員が初挑戦！ ビブリオバトル

特集



PICK UP!

大阪府枚方市に根付く 水嶋書房初の“ブックカフェ”

本洲食堂 MIZU
Natural Kitchen & Cafe



プロフェッショナル

ビブリオバトルの火付け役！
市川 紀子さん

“ 本を通して人を知る、人を通して本を知る
ビブリオバトルの魅力はこの一言につきる ”

裏面 ビブリオバトル一問一答 / 社長のつぶやき

火付け役の市川さんに聞いてみた!!

ビブリオバトル一問一答



～小規模イベントから始めてみたい編～



Q. 司会が大変そうですが・・・

A. 小さな規模であればタイマーだけでもできます。ルールがシンプルなので簡単です。

「次の方どうぞ」「読みたい本はどれですか」くらい。ディスカッションで質問が出ないときは司会が質問します。司会のトレーニングには最適です。

Q. 参加者が集まらなかったら？

A. もちろんスタッフが参加します。初めは渋っていた社員も一度出ればはまるようでチャンプ本に選ばれるまではと意気込んでいます。はじめのうちはバトルを予め確保しておき、書店のオープンスペースで行えば、自然と足をとめてくれる方も多いです。わが社は新人研修にも活用しています。

Q. やってみたいけど何から手をつけたらよいですか？

A. 【①いくつか余所のイベントに参加してみる②仲間を見つける③場所を確保】ビブリオバトルは公式ルールを守れば、どなたでも自由に開催できます。ビブリオバトル普及員会へサポートを依頼することも可能です。

～ちょっと大きなイベントをやってみたい編～

Q. 企画から開催までのスケジュール感は？

A. 規模にもよりますが、大体3ヶ月です。企画を立てて内容を固め、ゲストを呼ぶ場合は2ヶ月前に出演者に交渉し、1ヶ月前から告知という流れが多いです。書店で行うからには本の販売もします。事前手配のため、紹介本は2～3週間前には確認をしておく必要があります。

Q. 著名人への出演者交渉はどのように行うのですか？

A. 文房具 × ビブリオバトル (P.7 参照) の際で言うと、専門知識の深い方はもともとから勉強熱心でたくさんの本を読まれていますのでビブリオバトル参加への抵抗感は少ないようです。人気の方ほど早めに動いてスケジュール確保すること、ビブリオバトルの楽しさを語り「面白そう」と思って頂くことが大事です。

Q. ビブリオバトル開催のメリットは？

A. お客様と私たちスタッフの距離がぐっと近くなり、いろいろな本と人に出会える楽しい場所としてまた足を運んでくださるきっかけになります。テーマによっては本以外のキーワードから書店に来てもらえるので新しいお客様に出会えます。

社長のつぶやき

代表取締役 大石 孝一

前号までの振り返り
約35年前、ある出会いからコミック包装機を作ることになり、包装すると売り上げが増えるというデータが評判になり、包装機を導入する店舗が増えた。機械を納品しようとお店にお伺いすると・・・

開店準備のために店は大混乱。担当者は納品説明もままならない状態です。機械だけ置いて帰る訳にもいかず、納品機を使い包装のお手伝いをするにしました。そのような応援が続くうち、シュリンク袋に一冊ずつコミックを入れる作業の大変さを実感しました。自動で包装出来る装置と喜ばれると考えた私はすぐに開発に着手し、何とか試作機を完成させました。初めに完成したのは自立型の大きな機械でした。そのため故障の際には宅配便を使えず作業員が駆けつけなければなりません。全国展開を考えている弊社のビジネスモデルにそぐわず、数台で生産終了。大幅な設計変更を決めました。試行錯誤の末、宅配便発送可能サイズに三分割でき、三つを重ねてコネクタで接続すれば稼働する画期的な機械が生まれました。それが「コミックシュリンカーRAPIDS II」です。作業時間が大幅に短縮されたと喜ばれ、後に累計2千台以上売れたヒット商品となりました。

この頃から書店の大型化が進み、コミック冊数が3～5万冊にもなるお店が続々とオープンしていくと包装応援も更なる進化を遂げます。本の搬入日に合わせ応援機を持って社員数名でお伺いし全てのコミックを包装しました。無論、大変感謝され「次の新店も頼むよ」と言われるようになります。この取り組みが定着してきたところで「猫の手包装応援サービス」と名付けました。猫の手も借りたい時のお手伝いという意味です。北海道から九州まで、納品が重なる時は事務職の社員も駆け出し手分けして応援に出向きました。

取材・編集

日名 藤本 高瀬 矢内

校正

高瀬

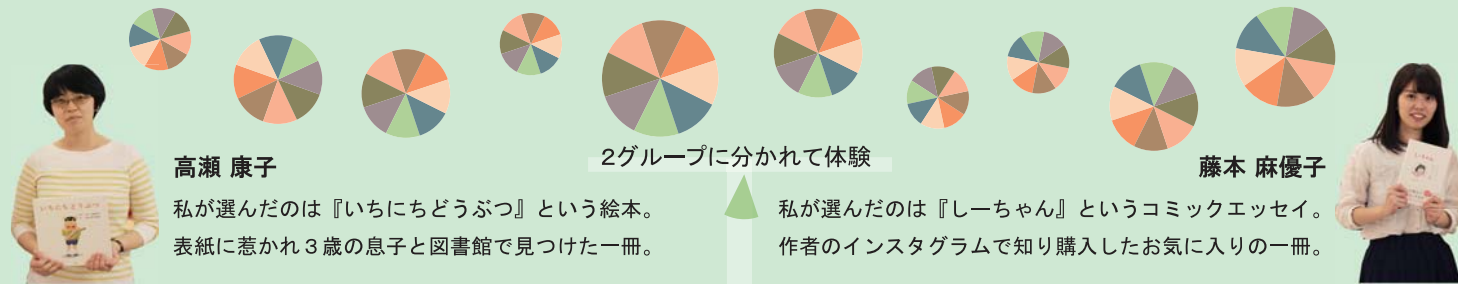
お便り

お待ちしております★

DAIWALETTER[ダイワレター]のご感想や、今回の取材店さんへのメッセージを募集しています。
宛て先: 〒174-0043 東京都板橋区坂下1-34-27 ダイワレター係まで!
(e-mail: info@daiwa-hi.co.jpでも承っております!)

東京本社: 〒174-0043 東京都板橋区坂下1-34-27 大阪支店: 〒564-0062 大阪府吹田市重水町3-2-1
TEL 03(3558)8131(代) FAX 03(3558)8132 TEL 06(6190)5731(代) FAX 06(6190)5732

“いざ！ビブリオバトル” ダイワ社員が参戦



高瀬 康子

私が選んだのは『いちにちどうぶつ』という絵本。
表紙に惹かれ3歳の息子と図書館で見つけた一冊。

2グループに分かれて体験

私が選んだのは『しーちゃん』というコミックエッセイ。
作者のInstagramで知り購入したお気に入りの一冊。

藤本 麻優子

プレゼンタイムスタート！

じゃんけんで発表順を決定。
ま・さ・かのトップバッター…

主人公が動物になってみて知る生態を面白おかしく紹介する絵本。最大の魅力は絵のギャップ。動物になった時の絵がリアルで個性的。表紙からは想像できない驚きがあります。余った時間で自分の絵本選びの基準を話しました。



緊張で頭真っ白！
でも何とかなるものです。

Instagramに投稿された子育て絵日記の書籍化。作者のこつばんさんにはなんと17万人ものフォロワーが！女の子あるある満載で自分もこうだったのかな～と思う場面が多々あります。後半アドリブで乗り切りました！

質疑応答・ディスカッションタイム

Q：作品中のどの動物に一番なりたいですか？
A：流されないよう昆布になるまて寝るラッコ！

Q：しーちゃんパパの立場は後半挽回されますか？
A：いいえ、パパの立場は低いままです・笑

せーので投票！

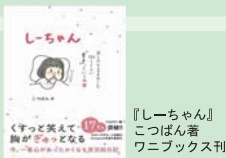


『いちにちどうぶつ』
ふくべあきひろ作
かわしまなえ絵
PHP 研究所刊

初心者には絵本がオススメ
かも。話が短く自分の考えを整理しやすい。



質疑応答の心構え
一、積極的に質問をする
一、否定的な質問はしない



『しーちゃん』
こつばん著
ワニブックス刊

“はじめてのビブリオバトル” 体験レポート@海老名

ビブリオバトル公式ルール

- 1) 発表参加者（バトラー）が読んでおもしろいと思う本を持って集まる。
- 2) 順番に1人5分間で本を発表する。
- 3) それぞれの発表後に参加者全員でディスカッション（質疑応答）をする。
- 4) 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員で行い最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト <http://www.bibliobattle.jp/home> 公式ルールより



今回体験したイベントはこちら

『大人ゼミ “はじめてのビブリオバトル”』
4/16（日）15：00～16：30
参加費無料 / 1ドリンク付
Bookcafe BOWLにて
ららぽーと海老名
〒243-0436 神奈川県海老名市周町 13-1
営業時間 10：00～21：00（レストランは23：00）
●スケジュール●
1. ルール説明
2. デモンストレーション
3. 質疑応答
4. 少人数で実戦

経験者によるデモンストレーション



有隣堂ららぽーと海老名店
小暮店長（中央）、同社小石さん（右）、イベント運営会社の伊藤さん（左）がデモバトルを披露。まずは自己紹介から。

小暮店長は『ゆうちゃんのみきさ一車』という絵本を紹介。子供の頃のピュアな欲望を満たす夢の様なお話だそう。こんな風に絵を見せながら紹介するのもあり。



3人の発表が終わると前に出て観客の投票を待ちます。バトラーも自分以外の作品に手を上げ投票することができます。市川さん自前のドラムロールが鳴り響く中・・・

小石さん（中央）の『いっぽんの鉛筆の向こうに』がチャンプ本に決定！社会人になった年に発行された思い出深い一冊とのこと。



『ゆうちゃんのみきさ一車』片山祐子作・片山健絵 福音館書店刊
『いっぽんの鉛筆の向こうに』谷川俊太郎著・堀内誠一絵・板井信彦写真 福音館書店刊



皆さんはビブリオバトルに参加されたことがありますか？「知的書評合戦」と称される近年話題のコミュニケーションゲームです。読書離れが叫ばれる中、じわじわとその競技人口を増やし学校教育にも取り入れられています。
はじまりは約10年前、京都大学院生のゼミクラスで良い本に出会える仕組みはないかと考案されました。その後ボランティア組織「ビブリオバトル普及委員会」が発足し、レクチャーや運営サポートなど全国各地で普及活動を行っています。
今回ビブリオバトル初体験のダイワ社員がイベントに参加し、実際にどのように進められていくのかをレポートします。書店の皆さんにとってイベント運営の一助となれば幸いです。それではレポートスタート★



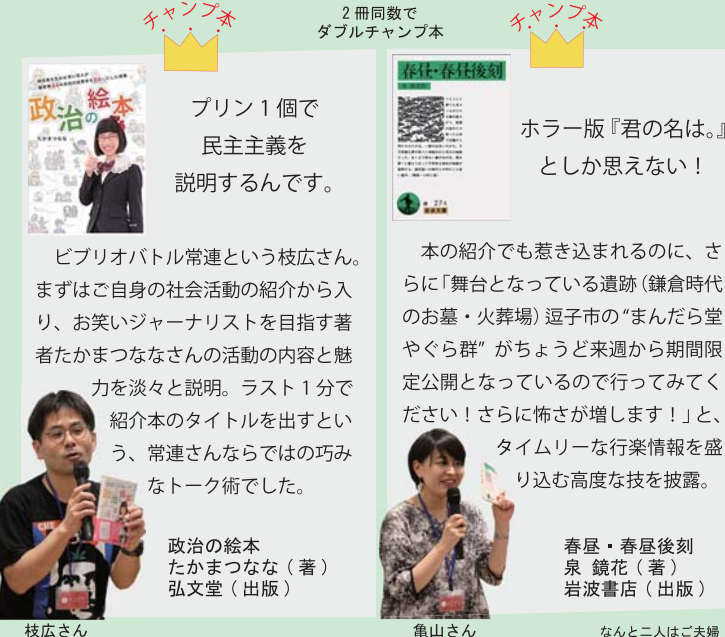
一度やったらはまります。自分では手に取らなかったであろう本に出会えます。
司会進行：有隣堂 / 市川さん
市川さんは有隣堂のビブリオバトルプロジェクトチームに所属し、通算60回ものビブリオバトル関連イベントを企画・運営してきました。P.6 プロフェッショナルコーナーではビブリオバトルへの熱い想いを取材しました！裏表紙“ビブリオバトル一問一答”も必見！

講座スタート

ららぽーと海老名ではほぼ毎週大人ゼミ・子供ゼミと呼ばれる様々なワークショップを開催しています。私達が参加したのは大人ゼミの一角、初心者向けビブリオバトル講座です。ルール説明やデモンストレーションがあり、観覧のみもOK。参加無料で1ドリンク付き。
今回の参加者は男性6名、女性8名の計14名。内10名がバトラーとして本の紹介をします。常連さんといえば、通りすがりの飛び入り経験者も未経験者もいるバラエティに飛んだ面々が集結。ちよっぴり緊張感に包まれた中、イベントが始まりました。
まずは司会の市川さんがビブリオバトルの成り立ちや流れ、ルールを説明します。

1バトルにバトラー3～5人がベスト。それ以上の場合はゲーム数を増やしたり、予選・決勝の2段階にするのも◎

カウントタイマーは公式サイトからダウンロード可能。残り1分でチーンと鳴り赤字になる。「これが結構焦るのです」（高瀬）



枝広さん

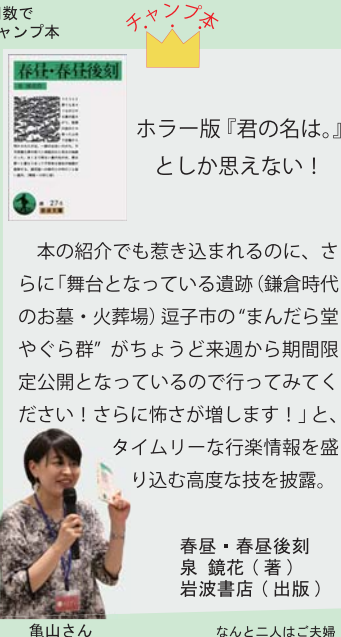
（高瀬）

チャンプ本
プリン1個で
民主主義を
説明するんです。



ビブリオバトル常連という枝広さん。まずはご自身の社会活動の紹介から入り、お笑いジャーナリストを目指す著者たかまつなさんの活動の内容と魅力を淡々と説明。ラスト1分で紹介本のタイトルを出すという、常連さんならではの巧みなトーク術でした。

政治の絵本
たかまつな（著）
弘文堂（出版）



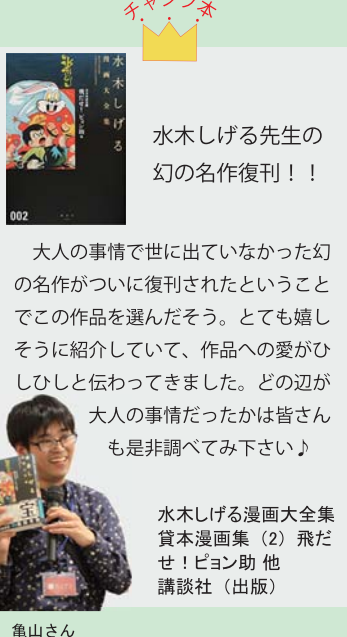
亀山さん

チャンプ本
ホラー版『君の名は。』
としか思えない！



本の紹介でも惹き込まれるのに、さらに「舞台となっている遺跡（鎌倉時代のお墓・火葬場）逗子市の“まんだら堂やぐら群”がちょうど来週から期間限定公開となっているので行ってください！さらに怖さが増します！」と、タイムリーな行楽情報を盛り込む高度な技を披露。

春屋・春屋後刻
泉 鏡花（著）
岩波書店（出版）



亀山さん

チャンプ本
水木しげる先生の
幻の名作復刊！！



大人の事情で世に出ていなかった幻の名作がついに復刊されたということでこの作品を選んだそう。とても嬉しそうに紹介していて、作品への愛がひしひしと伝わってきました。どの辺が大人の事情だったかは皆さんも是非調べて下さい！

水木しげる漫画大全集
貸本漫画集（2）飛だせ！ピョン助 他
講談社（出版）

バトル後は本の見せ合い



「オチが気になっていた『パンダ銭湯』を見せてもらってスッキリしました！」（藤本）



『パンダ銭湯』
tupera tupera 著
絵本館刊

本と人との出会いを楽しむため、知り合い同士はグループをなるべく分ける。

参加しての感想

初めてのビブリオバトルだったので、最初はとても緊張しました。5分持つかどうか心配でしたが、実際に自分の好きな本を紹介すると意外にもあつという間でした。残念ながらチャンプ本には選ばれませんでした。2票頂くことができ、私の発表で「読んでみたい」と思われることがこんなに嬉しいことなのかとただただ感激しました。また他の参加者の方々とも交流でき、新しい本とも出会い、とても楽しい時間をすごすることができました。（藤本）

いざ、参戦！

デモバトル後、質疑応答でルールや発表方法の疑問を解消し、いよいよ本番。2グループに分かれてビブリオバトルを体験しました。

曲がってみたらワクワク 買う気が半分だった人を 買う気にさせる売り場作り



地元に合わせて厳選された書籍



偏りなく各ジャンルが揃っているコミックコーナー



地域住民の趣向に合わせて鉄道・ミリタリー・カメラなどが揃う男性雑誌コーナー

革製のカバンやお財布
水嶋書房では”M's STAT IONERY”というカバンや雑貨に特化したお店も展開している。そのためスタッフは書店業務に加えて、革の種類や手入れ方法も学んでおり、より詳細な接客が出来る体制が整っている。



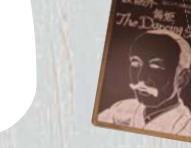
株式会社大阪水嶋書房 ニトリモール枚方
〒573-0171 大阪府枚方市北山 1-2-1 ニトリモール枚方店 2F408
TEL 072-808-7597 FAX 072-808-7598 AM10:00 ~ PM9:00
150 坪 (内カフェ 30 坪)

パレット

コンクリート建造物の床の下地などに用いられる木材を業者から購入し、スタッフで棚を制作。重ねることで欲しい場所に欲しい大きさの棚を作ることが出来る。また隙間に本を挿したり、フェイクグリーンを飾ったりアレンジも様々。



上：やぐら内が暗くならない様に照明を各所に配置
下：土日に最も購買率が高まる0・1 歳児向け絵本コーナー



文豪パネル

ブラックボードにホワイトインクで描かれた文豪達。店内の各柱に飾り本屋さんらしさを表現。イラストレーター経験のあるスタッフが丁寧に書き上げた。これをきっかけに個展開催の声が掛かるなど、相乗効果を生み出した。



迷いながら新しい発見をして欲しいという期待を込めて立てたやぐら。店内奥に位置し、絵本・児童書・料理本・裁縫の4つのコーナーに分かれている。本と雑貨が並び、じっくり見てしまう楽しい空間。

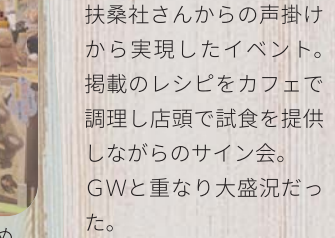
▲天井から吊るしたペンダントライト。枠にフェイクグリーンを巻き付け、天井からも森を演出し、お店づくりに拔かりなし！



書店系カフェの店頭イベント！



2016 年 5 月 7 日実施
たつきーママ新刊発売記念試食＆サイン会
扶桑社さんからの声掛けから実現したイベント。掲載のレシピをカフェで調理し店頭で試食を提供しながらのサイン会。GWと重なり大盛況だった。



たつきーママの簡単作りおきと時短おかずで 朝すく！弁当
奥田和美（著） / 扶桑社ムック



壁一面が本棚になっているカフェ、その名も“本棚食堂 mizu”。各テーブルやラックの中など随所に本が置かれており、閲覧・購入が可能。続きが気になる！と購入率が高く、常に本の追加を繰り返している。日替わりのサラダドレッシングやスープを始め、スタッフさんが考案し試作を重ねたメニューが充実。丹精込めて作られた温かな料理で心もお腹も満たされる。



Pick UP!



最初の2週間はスタッフ全員で朝から晩までひたすら紙やすりをかけました。オープンで一番大変な作業だったと思います。本を棚に詰めるのは、やすりかけに比べたらラクでしたね（笑）

ーお店の運営で工夫している点を教えてくださいー

当初は私がカフェを中心に見て、書籍や雑貨等の物販を副店長に任せる計画でしたが、スタッフ募集時にカフェ勤務経験者や、パティシエ経験者などの調理経験者が来てくれました。特に調理に長けている子をカフェの調理専任に据えて、オープン前から一緒にお店づくりを始めましたね。

ー売り場作りで大変だった点を教えてくださいー

明るくてのびのびと癒される空間を演出するためには木と緑が良いと思い、棚を全て木製にすることにこだわりました。

しかし、本の重みに耐えられる本棚探しや納品後には苦勞をしましたね。木材の種類や加工方法を自分で調べて、3.5ミリ厚の合板に特別加工を施してもらいました。しかし、施工会社さんが本棚の施工に慣れておらず、表面の磨きが足りずトゲが刺さる危険性が高い状態で納品されてしまいました。

この店舗は郊外のショッピングモールなので、土日や長期休みにお客さんが集中する特徴があります。平日のうちに土日の準備をするサイクルで業務にメリハリをつけています。

水嶋書房の他店と異なり、カフェを併設し書店と一緒に運営している店舗です。

ーニトリモール枚方店の特徴を教えてくださいー

この店舗は郊外のショッピングモールなので、土日や長期休みにお客さんが集中する特徴があります。平日のうちに土日の準備をするサイクルで業務にメリハリをつけています。

水嶋書房の他店と異なり、カフェを併設し書店と一緒に運営している店舗です。



MIZUSHIMA

ニトリモール枚方店

“お値段以上ニトリ♪”のニトリが運営するショッピングモール4店目が大阪府枚方市に昨年オープン。同モールで最大の売り場面積を誇り週末には家族連れで賑わう。

その2階に、枚方市を中心に展開している水嶋書房が、カフェを併設してオープン！
明るくのびのびとできる空間には、書籍だけでなく革製品・食器・知育玩具・フィギュア・衣類などなど魅力的なアイテムがギュッと詰まっている。今回は、店長の原さんに同店ならではの工夫を伺った。

お話を伺いました！

店長 原 聡美さん
書店員歴 22 年
パートとして水嶋書房に入社し、その後正社員に。現在、ニトリモール枚方店と茨木店の店長を務めている。



飲食店の混雑は予想しずらく、急に混むこともあります。そこで調理専任スタッフ以外は、物販・カフェに隔たりなく、どちらの業務もできるように教育しています。そうすることで、カフェの混雑時には、物販から応援を貰うことが出来るようにしています。

発注に関しては、各ジャンルに知識がある発注担当者に一任し一括で発注管理をしています。

この店舗に合った工夫で時間短縮を図り、より効率的な運営を目指しています。

ー予想と開店後でどのような違いがありましたかー

開店当初、90坪設けていた書籍よりも、20坪程度の書籍以外（カバン・文具・雑貨など）の売り上げが大きく、予想とは違っていました。今後ののびしろを考え、各ジャンルの売り場面積を変更をしました。売り上げの2/3が書籍以外で、1/3が書籍の構成になれば、利益率などでも面白いことが起こるのではないかと思い、それを目指して売り場面積や、取扱い商品の種類を増やしたりと挑戦してきました。

書籍の面積を減らしても、売り上げは大きくは変化していません。郊外店なので、書籍の回転率の良い駅近のお店と違いそんなに影響はしないことが分かりました。土日での書籍以外の衝動買いが増え、客単価が上がっています。

未だ課題が山積みで、1つ課題を越えたら新たな問題点が見つかります。ですがそれでも、やれなくはない兆しが見えてきていますね。

ースタッフ教育で意識している点を教えてくださいー

責任と利益を考えているならばお店作りに制限はありません。自分のやりたいと思ったことを形に実現できることが醍醐味だと思っています。なのでイベントやフェアについてスタッフ各々にアイデアを沢山ストックしてもらって、どう進めたら実践できるのかを一緒に話合うようにしています。

仕事ではしんどい部分が出ますが、全てをゲーム感覚で楽しめるようなアイデアをスタッフに伝え、「苦しい」を楽しいに変えさせて、それぞれのモチベーションを高めていくべきだと、長年書店員をやってきて思っています。

professional

【プロフェッショナル】

株式会社 有隣堂
社長室 社長特命担当

第33回 市川 紀子

“ 本を通して人を知る、人を通して本を知る ”

ビブリオバトルの魅力はこの一言につきる

横浜に本社を置く株式会社有隣堂はまもなく創業110年を迎える老舗企業である。近年では書籍・文具販売業のみならず音楽教室やオフィスコーディネートなど幅広い事業を展開している。

同社では2013年よりビブリオバトル（※）に取組み、自治体・学校・図書館・企業とのコラボレーションによる様々な企画を生み出し、地域の読書文化の発展に努めてきた。今回はビブリオバトルにいち早く着目しプロジェクトの指揮を執る市川さんにお話を伺った。

※巻頭特集記事にて詳しくご紹介しています。合わせてご覧ください。



有隣堂



株式会社 有隣堂
社長室 社長特命担当
ビブリオバトルプロジェクトチーム

市川 紀子 さん

Ichikawa Noriko

横浜市出身。短大卒業後、小売店に勤める。流通に興味を持ち貿易会社に転職。更なる高みを目指し輸入事務として有隣堂書籍外商部に入社。社会人サークル活動の中でビブリオバトルに興味を持つ。いつの間にか周囲を巻き込み同社の一大プロジェクトに。私生活でもボランティア団体「ビブリオバトル普及委員会」の関東地区副代表を務める。お酒と温泉が大好き。

これまでの職歴を教えてください

小売店で接客販売業務を10年ほど勤めた後、流通に興味を持ち貿易会社に転職しました。さらに英語を使った貿易の仕事を磨きたいと思い輸入事務として有隣堂に転職しました。当初は洋書・洋雑誌の手配業務を担当していましたが2年で異動になりました。その後文房具の仕入れ担当、ICT（※）推進事業部などを経験し、3年前に現在の部署に配属となりました。

社長特命担当という部署は、直接的な特命としての新規事業の企画やリサーチ等を行う一方、有隣堂のブランド維持・強化を目的として店舗と図書館や学校といった自治体関連機関や企業、団体等の地域の人たちと連携し文化振興に努める活動も行っています。その中のひとつがビブリオバトルです。

（※インターネット・コミュニケーション・テクノロジーの略）

ビブリオバトルに取り組むことになった

きっかけを教えてください

もとは2012年にビブリオバトルを知り、個人的に外部イベントに参加したり、所属している社会人サークルの仲間に声を掛けて自主開催したりしていました。喫茶店の一角でコーヒーを飲みながらプライベート空間で行う小規模なものです。そのいくつかの取り組みが徐々に盛り上がりつつあるところで会社にも企画を出し業務としても取り組むことになりました。

ビブリオバトルは、書店に来て買わずに帰る方、ネットで本を買う方、そもそも本を読まない方にどうしたらお店に来て頂けるか、本に興味を持ち手に取って頂けるかということに対してとても有効です。また店舗以外の場所でも行うことで、地域に暮らす方々の顔を見て話し、関心事や行動範囲を知ることができる重要なイベントです。

ビブリオバトルの魅力はどんな点でしょう

「本を通して人を知る、人を通して本を知る」という

一言につきます。これはビブリオバトルを2007年に考案された現在立命館大学教授・谷口忠大氏によるキャッチコピーです。『ビブリオバトル』本を知り人を知る書評ゲーム『谷口忠大著・文春新書より』初対面の人としても本が話のきっかけになります。本を介して人と人が繋がるのが魅力ですね。

そして本を紹介するだけでなく、その後の観客と発表者（パトラー）の質疑応答が実はとても大切で、このディスカッションタイムが全体の盛り上がりや左右すると言っても過言ではありません。否定的だったりいじわるな質問はなし。「その本とはどこで出会いましたか?」「好きなフレーズは?」とプレゼンの中で出てこなかったことを掘り下げていきます。「ネタバレになるので読んでみて」と返すことも。観客から助け舟のような質問が出ることもあります。その質問によって知識の補填がなされさらに興味や湧くのです。その場全体で一冊の本を理解して新しい発見がある。そんなやり取りが醍醐味ですね。人数が多すぎると受身になりがちなので、20〜30人ぐらいが和気あいあいと盛り上がりやすいです。

また話が上手でも、有利ではあるけど必ずしもチャンプ本に選ばれるという訳ではないです。拙い発表でも熱意が伝わるのと「こんなに熱く語られる本とはどんな本だろうか、もっとこの人の話を聞いてみたい」と興味や湧きます。様々な本と人にスポットが当たった点がいいなあと思います。

印象に残っているイベントについて

教えてください

昨年8月に小田原駅ビル・ラスカ小田原で行ったお酒イベント「ぐびっといこう! 神奈川の酒・農と本を味わう会」です。神奈川の酒と農を伝えるフリー冊子『かながわ酒・農マガジン』(goo・bit ぐびっと)を手がける「ぐびっと」代表の鈴木啓二朗さんから「何か一緒にやりませんか」とお話を頂いたのがきっかけです。昨年8月に小田原駅ビル・ラスカ小田原で行ったお酒イベント「ぐびっといこう! 神奈川の酒・農と本を味わう会」です。神奈川の酒と農を伝えるフリー冊子『かながわ酒・農マガジン』(goo・bit ぐびっと)を手がける「ぐびっと」代表の鈴木啓二朗さんから「何か一緒にやりませんか」とお話を頂いたのがきっかけです。



◆作品介绍◆

日本を代表する科学者4人が同じ屋根の下に住んでいたら…。科学者の目線から日常の不思議を紐解くコミック。

イベント当日は定員30人が満席! ビブリオバトルは知らなくても「酒」というキーワードでお客さんが集まりました。蔵元さんたち地元の方々との繋がりがからの参加もあり、お酒好き・本好きな人同士で賑わいました。地元のことを飲んだり話を聞いたりしながら、本を通して地元のことを知ることが出来るイベントになりました。お酒と本は相性がいいです。このようにビブリオバトルにプラスアルファで何か体験ができればいいなと日々企画を考えています。

働く上で大切にしている事を教えてください

何でも楽しむことだと思います。仕事は本気でやりますが、本気で楽しめないやりにたくない(笑)。本人が楽しんでやっていると周りも「面白そうだな」とやってくるな」と興味を持ってくれると思います。見ているうちにいつの間にか巻き込まれているってことがありますよね。そして楽しむ為には何でもやってみることが大切ではないでしょうか。以前は、自分は決まった仕事を定期的に行う方が性に合っていると思っていましたが、5年ほど前ICT推進事業部にいる頃にSNSに出会って考え方が変わっ

たと思います。

同事業部では当時企業がやり始めていたツイッター等を使った情報発信について研究をし、有隣堂での活用方法を模索していました。ツイッター、フェイスブック、mixiなどひと通り個人アカウントを開通し、セミナーにも出まわって勉強しました。その中で拔群に情報発信が上手な人がいることに衝撃を受け、個人でも世に発信し人や社会に影響を与えることが出来ることを知り、自分にも何かできるかもしれないと勇気が出ました。自己表現の武器を手に入れ、殻を破れたと思います。SNSは諸刃の剣で良い面も悪い面もあります。初めは怖い思いをしたこともありましたが、失敗をする内に感覚を掴んで、交流の幅が広がっていき、そのネットワークやノウハウを仕事にも活かせるようになりました。

今後の展望をお聞かせください

ビブリオバトルをきっかけとして業界全体を巻き込むようなことにチャレンジしてみたいです。例えば絶版本や重版がからず世間から消えていこうとしている本を復刊させるような。ビブリオバトルは読みたい本で決まりますので、ニーズが見えます。そこから復刊企画に繋がれたら、本にとっても読者にとっても作り手にとっても幸せなことだと思います。

また書店対抗ビブリオバトルもしてみたいですね。書店ごとに強みや書店員さんの趣味思考が違うのでとても面白いのではないのでしょうか。

全国の書店員さんに一言お願いします

本の面白さをもっと外に発信していきましょう。他社だからとか競合だからと壁を作るのではなく、一緒に盛り上がり上げたいければ、本をより多くの人に届けられる、「本の世界って面白そう」と思ってもらえると思います。さらには、本だけじゃなくて「書店員さんも面白い」とお客さんに知って頂きたい。面白い本を知っているのは絶対面白い人ですから、是非皆さんのお顔を見せてください。

コラボレーション企画をご紹介します

横浜銘菓 × ビブリオバトル



テーマ「大人も楽しい絵本の世界」
パトラー：一般応募者

横浜銘菓ハーバーでお馴染みの老舗企業「ありあけ」本館カフェをお借りしてのビブリオバトル。ケーキとドリンク付の大好評企画。平日午後開催であいにくの大雨にもかかわらずキャンセルなしの満席! 「ありあけ」さんの人気の高さを実感。カフェというラックス空間でディープな絵本がたくさん出てきました。

横浜市教育委員会 × ビブリオバトル



テーマなし
パトラー：横浜市8区の地区予選代表者

横浜読書百貨展と称した読書活動を紹介する展示会で、横浜市教育委員会様とともに各区の代表戦ビブリオバトルを企画しました。横浜市18区中8区が参戦し、事前の地区予選から勝ち上がった代表が渾身の1冊を紹介。当日は300名の会場が満席となり入場制限をするほどの盛り上がりを見せ、地元愛の熱さを実感しました。

文房具 × ビブリオバトル in 東京カルチャーカルチャー



テーマ「モノがたり〜文具にちなんだ本〜」
パトラー：文具具界の著名人

【第1部】ビブリオバトル
・梶原治樹さん/株式会社扶桑社
『文房具屋さん大賞』シリーズ 販売担当
・菅末里さん/文具ソムリエール
・たいみちさん/古文房具コレクター
・土橋正さん/ステーションナリディレクター
文具コンサルタント
・寺井広樹さん/試し書きコレクター
【第2部】2016秋冬イチョウ文具コレクション
文房具メーカーさん最新・注目アイテム紹介!

一時期文房具仕入担当だったこともあり、その縁を活かし文房具の奥深さを広めたくて考えた異素材MIX企画。この企画を通して、ちょっと違った視点からの本の紹介、メーカーさんのこだわりや製品開発にける情熱をユーザーさんに知って頂き、メーカーさんにもユーザーさんの反応を直に感じて頂くことができ、お互いの交流を楽しんで頂きました。

市川さんの

いちおし★BOOKS

『ドミトリーともきんす』 高野文子著・中央公論新社

オススメ理由

時間のかかることや目に見えないこと、不思議なことを感じる心をもっと大事にしようとしてくれる。じっくり考えること感動を味わうことで培われる心の豊かさを伝えたい。登場人物の4人の科学者は優れた随筆家でもあり彼らの作品の読書案内としても最適の一冊。結論を急ぐ風潮の現代、実用的ですぐに役立つマニュアル本が選ばれがちですが、書店員として知を育む好奇心や想像する心を養う本もすすめていきたいなと思っています。

